

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日 令和6年7月26日

事業名	感染症対策防護服等備蓄事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	新規事業
	係	地域医療係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	312	名称		目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	R5	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度	R5	事業分類	その他市民に対する事業
	施策	2	地域医療体制の充実					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	地域医療体制の確保を目的とし、新たな感染症の発生時に防護服等不足による市内医療体制の崩壊を防ぐため市で防護服等を備え置き、有事の際に市内医療機関を支援する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	感染症が発生した時の防護服等の購入困難を回避できる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		防護服購入数	セット			1,400		

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	防護服等の購入	活動指標	単位	R3	R4	R5
		防護服購入数	セット			1,400
		事業費計	千円	0	0	3,488
		一般財源	千円			3,488
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	地域医療を継続（医療従事者の安定した医療への従事）することで市民は安心して受診できる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		防護服購入数	セット			1,400	値が大きいほど良い	効果が上がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した	○		
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	
------	--

事業名	市民病院等施設整備支援事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	健康増進課		市民病院等施設整備支援事業		款	4	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係		業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	312	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			開始年度	R3	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	R12	事業分類	支援事業
	施策	2	地域医療体制の充実						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	民設民営化後の佐野市民病院及び併設施設の施設整備に対する支援を行うことで、市民の安心安全な医療サービスの確保を図る。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	民設民営化後の佐野市民病院及び併設施設の施設整備に対する支援を行うことで、市民の安心安全な医療サービスの確保を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		対象施設数	箇所	4	4	4	5	5

（3）目標値

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	<市の活動> 佐野市民病院及び併設施設を運営する社会医療法人財団佐野メディカルセンターに施設整備費補助金を交付した。 <佐野メディカルセンターの活動> 佐野市民病院及び併設施設の施設整備を行った。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		延べ外来患者数・入院患者数	人	117,300	119,076	113,488
		延べあそヘルホス入所者数・通所者数	人	41,416	39,597	39,658
		事業費計	千円	200,000	200,000	200,000
		一般財源	千円	200,000	200,000	200,000
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	施設整備を行うことで、市民に対し安心安全の医療サービスを提供した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		対象施設数	箇所	4	4	4	値が小さいほど良い	効果は変わらない

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用	費用は下がった	費用が増加した
	効果が下がった指標数	0指標				
		指標全体	効果は変わらない		○	

4．次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

R5年度に新棟が完成し、機器の更新、衛生面や安全面が向上した。また、今後B棟、C棟の解体に向けて施設整備を進めていく。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	国民健康保険診療所医薬品衛生材料費	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名		予算科目	会計	国保	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		国民健康保険診療所医療用消耗器材費（各診療所）	款		2	新規or継続	継続事業	
	係	地域医療係			項		1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	312	名称	根拠法令、条例等			目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		佐野市国民健康保険診療所条例	事業期間	開始年度	S34	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		例、佐野市国民健康保険診療所		終了年度	-	事業分類	その他内部事務事業
	施策	2	地域医療体制の充実		条例施行規則					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	診療所の医療品購入
------	-----------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市国民健康保険診療所の受診者に対し、適正な診療を行うことができる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		ジェネリック医薬品使目標使用割合(数量ベース)	%	79.4	85.7	87.8	87.8	87.8

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	医薬品の購入	活動指標	単位	R3	R4	R5
		単価契約した医薬品種類	件	939	900	843
		延べ受診者数	人	16,048	14,710	13,584
		事業費計	千円	62,675	51,310	46,603
		一般財源	千円	62,675	51,310	46,603
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	地域医療体制を確保し、市民に身近で安心した医療を提供できる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		ジェネリック医薬品使目標使用割合(数量ベース)	%	79.4	85.7	87.8	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用は下がった		※ 1 0 万円以上の増減により判断		効果			
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		費用	費用は下がった	○	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			費用の増減無し				
	効果が下がった指標数	0指標			費用が増加した				
	指標全体	効果が上がった							

4. 次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

薬品購入希望を取る際に後発医薬品（ジェネリック医薬品）の積極的使用促進を行った。ただしジェネリック医薬品の使用を強制することはできないことや供給が不安定なものがあるなど、細心の注意が必要となる。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	国民健康保険診療所医療用機械器具費	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	国保	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		国民健康保険診療所医療用機械器具費（各診療所）		款	2	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	312	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	S34	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	地域医療体制の充実						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	診療所の医療用機械器具の維持管理
------	------------------

（2）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	稼働している医療用機械器具について、診察に支障の無いように適正に管理する。
-------------------------	---------------------------------------

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
X線管理区域の数	箇所	5	5	5	5	5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R5年度に行った主な活動内容）	・レントゲン装置の保守委託 ・レントゲン装置個人放射線量測定委託 ・診察X線管理区域放射線漏洩線量測定委託 等
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
適正に管理された医療用器具の台数	台	20	20	20
放射線漏洩線量測定を受けた診療所	箇所	5	5	5
事業費計	千円	3,302	3,212	4,078
一般財源	千円	3,302	3,212	4,078
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 （定量及び定性）	地域医療体制を確保し、市民に身近で安心した医療等を提供できる。
------------------	---------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
X線管理区域の数	箇所	5	5	5	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した	
効果 （R5とR4の 指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標	
	効果は変わらない指標数	1指標	
	効果が下がった指標数	0指標	
	指標全体	効果は変わらない	

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し		
	費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

放射線漏洩による被曝を防ぐことができた。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

事業名	国民健康保険診療所医療用消耗器材費	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名		予算 科目	会計	国保	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		国民健康保険診療所医療用消耗器材費（各診療所）	款		2	新規or継続	継続事業	
	係	地域医療係			項		1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	312	名称	根拠法令、条例等			目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		佐野市国民健康保険診療所条例	事業 期間	開始年度	S34	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		例、佐野市国民健康保険診療所		終了年度	-	事業分類	その他内部事務事業
	施策	2	地域医療体制の充実		条例施行規則					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	診療所の医療用消耗品の購入、医療用廃棄物の処理委託、検査の委託等
------	----------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市国民健康保険診療所の受診者に対し、適正な診療を行うことができる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		臨床検査等の委託件数	件	6,717	7,811	8,189	8,189	8,189

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・薬袋等の購入 ・医療用廃棄物の処理委託 ・臨床検査、MRI、CT検査等の委託 等	活動指標	単位	R3	R4	R5
		臨床検査等の委託件数	件	6,717	7,811	8,189
		延べ受診者数	人	16,048	14,710	13,584
		事業費計	千円	6,465	8,067	9,293
		一般財源	千円	6,303	7,874	9,114
		特定財源（国・県・他）	千円	162	193	179
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	地域医療体制を確保し、市民に身近で安心した医療を提供できる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		臨床検査等の委託件数	件	6,717	7,811	8,189	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した	○		
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

医療用廃棄物の処理委託、検査の委託をし、適正な診療を行うことで安心した医療提供を行った。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

事業名	佐野市医師会附属佐野准看護学校運営費支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	4-②	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		佐野市医師会附属佐野准看		款	4	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係		護学校運営費支援事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	312	名称	根拠法令、条例等	事業 期間	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	佐野市医師会附属佐野准看		開始年度	S38	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり	護学校運営費補助金交付要		終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	2	地域医療体制の充実	領					

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	地域医療体制の充実を図るため、地域医療の一端を担う准看護師の養成を行っている佐野市医師会附属佐野准看護学校に対して運営を支援する。
------	---

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市医師会附属佐野准看護学校の生徒が准看護師の資格を得て卒業する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		補助対象学校数	校	1	1	1	1	1

（３）目標値

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (R５年度に行った主な活動内容)	<市の活動> 佐野市医師会附属佐野准看護学校を運営している佐野市医師会に補助金を交付した。また、市広報に学校見学会の案内の掲載や市内公共施設に周知ポスターの掲示を依頼した。 <学校の活動> 准看護師の養成を行う学校運営を行った。（授業、学校見学会、周知活動など）	活動指標	単位	R3	R4	R5
		准看護学校学生数	人	43	34	41
		事業費計	千円	4,000	4,000	4,000
		一般財源	千円	4,000	4,000	4,000
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	准看護師養成のため、安定した学校運営を行えるようにする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		補助対象学校数	校	1	1	1	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（４）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用は下がった		
	効果が下がった指標数	0指標		費用の増減無し	○	
		指標全体	効果は変わらない	費用が増加した		

4．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

入学者数が年々減少しているため、准看護学校と協力して、広報周知などを行う必要がある。
--

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	市民病院救急医療等推進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課		市民病院救急医療等推進事業		款	4	新規or継続	継続事業	
	係	地域医療係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	312	名称	根拠法令、条例等	事業 期間	目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			開始年度	H30	実施方法	直営	
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり				終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	2	地域医療体制の充実							

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市民病院の救急医療等の維持について支援を行う。
------	---------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市民病院の救急医療等の維持について支援することで、救急医療などの地域医療体制の確保を行い、市民に身近で安心した医療の提供を行う。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		対象施設数	箇所	1	1	1	1	1

（3）目標値

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	<市の活動> 佐野市民病院を運営する社会医療法人財団佐野メディカルセンターに救急医療等維持交付金を交付した。 <佐野メディカルセンターの活動> 佐野市民病院の救急医療を実施した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		延べ救急受診患者数	人	1,541	1,389	1,403
			人			
		事業費計	千円	20,000	20,000	20,000
		一般財源	千円	20,000	20,000	20,000
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	佐野市民病院の救急医療体制等の維持について支援を行うことで、地域医療体制を確保し、市民に身近で安心した医療サービスを提供した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		対象施設数	箇所	1	1	1	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用	○	
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果は変わらない				

4．次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

佐野市民病院の救急医療等の維持について支援し、市民に身近で安心した医療等を提供した。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	市民病院等移行期運営支援事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	健康増進課		市民病院等移行期運営支援		款	4	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係		事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	312	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			開始年度	H30	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	R6	事業分類	支援事業
	施策	2	地域医療体制の充実						
				佐野市民病院の譲渡に関する基本協定書					

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	佐野市民病院及び介護老人保健施設あそヘルホスの民設民営化に伴う移行期の運営を支援する。
------	---

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市民病院及び介護老人保健施設あそヘルホスの民設民営化に伴う移行期の運営を支援する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		運営数	箇所	4	4	4	4	-

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (R５年度に行った主な活動内容)	<市の活動> 佐野市民病院及び併設施設を運営する社会医療法人財団佐野メディカルセンターに移行期補助金を交付した。 <佐野メディカルセンターの活動> 佐野市民病院及び併設施設の運営を行った。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		延べ外来患者数・入院患者数	人	117,300	119,076	113,488
		延べあそヘルホス入所者数・通所者数	人	41,416	39,597	39,658
		事業費計	千円	200,000	200,000	200,000
		一般財源	千円	200,000	200,000	200,000
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	支援を行うことで、市民に対し安心安全の医療サービスを提供した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		運営数	箇所	4	4	4	値が小さいほど良い	効果は変わらない

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用	費用は下がった 費用の増減無し 費用が増加した	○
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果は変わらない				

4．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

運営支援を行うことでより安定した経営がなされ、市民に対し安心・安全な医療サービスが提供できた。 今後、医療サービスの質を落とさず、安定した経営に向け自助努力を継続して行ってもらおう。
--

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	保健センター機能強化事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度	
	課	健康増進課		保健センター機能強化事業		款	4	新規or継続	新規事業	
	係	地域医療係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	312	名称	根拠法令、条例等	事業 期間	目	4	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			開始年度	R5	実施方法	一部委託	
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり				終了年度	R6	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	地域医療体制の充実							

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	保健センターとしての機能を強化・充実させるための改修、施設整備を行う工事管理委託及び改修工事をする。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	保健センターの改修を行い、機能強化・充実をさせることでより市民に安心・安全な医療提供体制を構築する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		保健センターの改修	箇所			1	1	

（3）目標値

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	改修を行う内容を関係部署や関係機関と協議を行うことで、機能強化・充実させる内容を固めた。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		関係者との協議	回			12
		事業費計	千円	0	0	4,583
		一般財源	千円			2,583
		特定財源（国・県・他）	千円			2,000
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	関係部署、機関と複数回協議を行うことで、改修工事に向けてより建設的な話し合いが行えた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		保健センターの改修	箇所			1	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった		費用	費用は下がった	
				費用が増減無し		
				費用が増加した	○	

4．次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

協議、検討を重ね、順調に実施設計が行われた。次年度においては、本格的な改修工事を実施していく。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年7月16日

事業名	国民健康保険診療所研究研修費	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	国保	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		国民健康保険診療所研究研修費（各診療所）		款	1	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	312	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	佐野市国民健康保険診療所条例、	事業期間	開始年度	S34	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり	佐野市国民健康保険診療所条例		終了年度	-	事業分類	その他内部事務事業
	施策	2	地域医療体制の充実	施行規則					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	診療所医師の研修、医学専門書の購入
------	-------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	医師の医療知識や技術を高めることにより、必要ときに、安心して医療を受けることができるようにする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		医師の配置ができた診療所	箇所	5	5	5	5	5

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・医学専門書や参考図書の購入	活動指標	単位	R3	R4	R5
		図書購入金額	千円	34	70	66
			人			
		事業費計	千円	34	160	247
		一般財源	千円	34	160	247
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	地域医療体制を確保し、市民に身近で安心した医療等を提供できる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		医師の配置ができた診療所	箇所	5	5	5	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用の増減無し	○		
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果は変わらない					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

医師の医療知識や技術を高めるために医学専門書や参考図書の購入を行った。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年7月16日

事業名	国民健康保険氷室診療所往診用車両整備事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算科目	会計	国保	事業計画	単年度のみ
	課	健康増進課		款	3	新規or継続	新規事業
	係	地域医療係		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	312	名称	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	根拠法令、条例等	事業開始年度	R5	実施方法	直営
	政策	1	佐野市国民健康保険診療所条例、佐野市国民健康保険診療所条例施行規則	終了年度	R5	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	地域医療体制の充実				

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市国民健康保険氷室診療所の往診用車両の整備を行う。
------	-----------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市国民健康保険氷室診療所の往診用車両を良好な状態に保つことで、安心な診療体制を提供することができる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		氷室診療所往診用車両台数	台			1		

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	佐野市国民健康保険氷室診療所の往診用車両の購入	活動指標	単位	R3	R4	R5
		氷室診療所往診用車両台数	台			1
		事業費計	千円	0	0	1,575
		一般財源	千円			175
		特定財源（国・県・他）	千円			1,400
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	地域医療体制を確保し、市民に身近で安心した医療等を提供できる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		氷室診療所往診用車両台数	箇所			1	値が大きいほど良い	効果が上がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した	○		
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

事業名	国民健康保険診療所維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	国保	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		国民健康保険維持管理事業（各診療所）		款	1	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係				項	1	市単独or国保補助	市単独事業
政策体系	体系コード	312	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	佐野市国民健康保険診療所条例、 佐野市国民健康保険診療所条例 施行規則		開始年度	S34	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	地域医療体制の充実						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市国民健康保険診療所（野上診療所、新合診療所、飛駒診療所、常盤診療所、氷室診療所）及び医師住宅の維持管理
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市国民健康保険診療所及び医師住宅を良好な状態に保つ。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		業務に支障なく維持管理できた診療所の数	箇所	5	5	5	5	5

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)		活動指標	単位	R3	R4	R5
	・施設の修繕	施設の修繕件数	件	9	17	16
	・火災保険の加入	除草剪定作業回数	回	11	12	11
	・し尿浄化槽の維持管理					
	・除草剪定作業	事業費計	千円	2,139	3,663	3,590
	・警備の委託	一般財源	千円	2,139	3,663	3,590
	・清掃の委託	特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	地域医療体制を確保し、市民に身近で安心した医療等を提供できる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		業務に支障なく維持管理できた診療所の数	箇所	5	5	5	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果 (自動判定)

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果				
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		費用	費用は下がった	効果が上がった	効果が変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標			費用の増減無し		○	
	効果が下がった指標数	0指標			費用が増加した			
	指標全体	効果は変わらない						

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

修繕を行い、業務に支障なく診療所及び医師住宅を維持管理できた。市有施設適正配置計画に基づく統合や複合化の計画についての検討は進捗がなかったが、今後は検討を行う。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	<table><tr><th>取組説明</th></tr><tr><td></td></tr></table>	取組説明	
取組説明			

事業名	国民健康保険常盤診療所医師住宅等解体事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	国保	事業計画	単年度のみ
	課	健康増進課		国民健康保険常盤診療所住宅等解体事業		款	1	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係				項	1	市単独or国保補助	市単独事業
政策体系	体系コード	312	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	佐野市国民健康保険診療所条例、 佐野市国民健康保険診療所条例		開始年度	R4	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり	施行規則		終了年度	R5	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	地域医療体制の充実						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市国民健康保険常盤診療所医師住宅の解体工事を行う。
------	-----------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	風水害による、老朽化した医師住宅を解体することで、建材飛散等を防止することができ、安心な診療体制を提供することができる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		対象建物数	棟	-	1	1		

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R 5 年度に 行った主な活 動内容)	佐野市国民健康保険常盤診療所医師住宅の解体	活動指標	単位	R3	R4	R5
		対象建物数	棟	-	1	1
		事業費計	千円	0	320	8,404
		一般財源	千円		320	8,404
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	地域医療体制を確保し、市民に身近で安心した医療等を提供できる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		対象建物数	棟	-	1	1	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果 (自動判定)

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した		※ 10万円以上の増減により判断		効果					
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		費用	費用は下がった	費用の増減無し	費用が増加した	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果は変わらない指標数	1指標									
	効果が下がった指標数	0指標									
	指標全体	効果は変わらない									

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	

事業名	国民健康保険診療所運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	国保	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		国民健康保険診療所運営事業（健康増進課）、国民健康保険運営事業（各診療所）		款	1	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	312	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	国民健康保険法、佐野市国民健康保険診療所条例、佐野市国民健康保険診療所条例施行規則	事業期間	開始年度	S34	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	地域医療体制の充実						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市国民健康保険診療所（野上診療所、新合診療所、飛駒診療所、常盤診療所、氷室診療所）の管理運営
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市国民健康保険診療所の受診者が必要なときに、安心して医療を受けることができるようにする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		医師の配置ができた診療所	箇所	5	5	5	5	5

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・派遣医師に関する事務 ・医師及び職員の配置 ・消耗品及び備品の購入 ・光熱水費の支払い ・往診車の維持管理 ・事務機器のリース 等による診療所の運営	活動指標	単位	R3	R4	R5
		延べ受診者数	人	16,048	14,710	13,584
		延べ診療日数	日	864	852	820
		事業費計	千円	58,543	57,684	51,125
		一般財源	千円	58,543	57,684	51,125
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	地域医療体制を確保し、市民に身近で安心した医療等を提供できる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		医師の配置ができた診療所	箇所	5	5	5	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用の増減無し		○	
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果は変わらない					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

県派遣医師及びへき地医療拠点病院と連携を図り5診療所に医師の配置ができた。 引き続き、県やへき地医療拠点病院と連携を図り、医師の配置を行う。又、現在の診療日数(野上、新合、飛駒、氷室の各診療所が週4日、常盤診療所が週2日)などを増やすことは難しい状況だが、介護などと連携を図り、地域包括ケアの拠点としての役割を担っていく。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	全国国民健康保険診療施設協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算 科目	会計	国保	事業計画	単年度繰返し
	課	健康増進課		全国国民健康保険診療施設協議会参画事業（各診療所）		款	1	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係				項	1	市単独or国保補助	市単独事業
政策体系	体系コード	312	名称	根拠法令、条例等	事業 期間	目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	（公社）全国国保診療施設協議会会費規定、栃木県国保連合会負担金及び手数料の賦課徴収規則		開始年度	H1	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	参画事業
	施策	2	地域医療体制の充実						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市国民健康保険直営診療所は、公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会（以下「国診協」）に加入しており、国診協の栃木県協議会事務局は栃木県国民健康保険団体連合会の負担金として納めている。国診協は、直営診療所を拠点とした「地域包括ケアシステム」の構築、推進のため国民健康保険団体連合会等の関係機関と連携し、学会、研修会、機関誌の発行等を行っている。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・超高齢社会に対応する地域包括医療、地域包括ケアの充実強化、地域包括ケアシステムの構築等の最新情報を得る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		機関誌「地域医療」の配布	回	4	4	4	4	4

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)		活動指標	単位	R3	R4	R5
	・栃木県国民健康保険団体連合会負担金（診療施設割）の支払い ・栃木県国民健康保険団体連合会診療施設部会医師会会員負担金（医師割）の支払い ・国診協の機関誌「地域医療」及び「全国国保地域医療学会特集号」の受領	機関誌「地域医療」の配布	回	4	4	4
		事業費計	千円	500	500	500
		一般財源	千円	500	500	500
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	地域医療体制を確保し、市民に身近で安心した医療等を提供できる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		機関誌「地域医療」の配布	回	4	4	4	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(5) 費用対効果結果 (自動判定)

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し		※ 10万円以上の増減により判断		効果					
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		費用	費用は下がった	費用の増減無し	費用が増加した	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果は変わらない指標数	1指標									
	効果が下がった指標数	0指標									
	指標全体	効果は変わらない									

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

機関誌等で直営診療所を拠点とした「地域包括ケアシステム」の構築推進のための情報を得た。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	-----------------